

# 訃 報

——謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

菱川 幸雄 殿(建設部門) 平成26年4月20日逝去 87歳

## ■ ■ ■ 編 集 後 記 ■ ■ ■

広島で発生した土砂、土石流災害および北海道を襲った大雨、洪水の被害に遭われた皆様、関係者の皆様にお見舞い申し上げます。東日本大震災から丁度3年半が経ち、防災への意識が日々薄れつつあることを、今回の災害で改めて自戒も含めて考えさせられました。

さて、本号では、北海道ゆかりの著名人について触れられた記事が掲載されています。書道家の金子鷗亭氏、日本画の蛸崎波響氏など、松前とゆかりの深い方々です。特に近代詩文を提唱した金子鷗亭氏の書は、筆者が高校時代に選択した書道の授業で初めて鑑賞しました。それまでお稽古事の「習字」という概念しかなかった世界から、芸術としての「書道」に触れた機会であり、その表現方法に非常に感銘を受けたものです。芸術が向かう先には終わりがないと言われますが、新しい技術や手法を生み出していかなければならない技術者にも終わりはありません。分野が異なっても日々の業務に何か役立つようなヒントが本誌を通じて見つかるようであれば幸いです。今後とも皆様からのご投稿をお待ちしております。

(第134号 編集担当 加藤美穂子)